



どこまでごまかす桜見る会

桜を見る会の風流とは程遠い会の実態が明らかになりました。安倍夫妻が多くの後援会員や支持者を格安で



招待し、中にはジャパンライフ元会長など反社会的勢力も。これでは招待した側も反社会的。野党は共同で「桜を見る会追及本部」を立ち上げて闘っています。

これが暴露されると、慌てて招待者名簿を破棄。資料請求された当日に順番待ちでシュレッダーにかけたと言いますが、現場で該当機械を試すと、たった32秒で作業は終わる。シュレッダーまで破棄はできなかったのは誤算？ あまりにも見え透いたウソ。後援会と政府が一体になって違法を隠ぺい。なぜここまでごまかして隠そうとするのか。事実がばれると、政治資金規正法や公職選挙法違反となり、安倍晋三議員の当選も取り消されることになりかねないからです。批判が強まれば、アメリカのトランプ疑惑と同様に与党の中での疑心暗鬼がたかまり「このままでは自民党・公明党の内閣そのものが危なくなる。安倍さんにはお引き取り願おう」と与党を追い込むこともできます。まさに市民と野党連合が手を結んで徹底追及を。

安倍総理の演説要望 国連拒否 「美しい演説ではなく具体的な計画」を

深刻さを増す地球温暖化に対処するため9月に米ニューヨークの国連本部で開かれた「気候行動サミット」で、日本政府が安倍晋三首相の演説を要望したが国連側から断られていた……。日本は、安倍首相が演説し、6月に議長を務めた20カ国・地域首脳会議（G20大阪サミット）の結果を含めて報告したい意向を伝えて協議したが断られたという。二酸化炭素（CO2）の排出が特に多い石炭火力発電の推進方針が支障になったという。主催したグテレス国連事務総長は開催に先立ち「美しい演説ではなく具体的な計画」を用意するよう求めていた。複数の政府関係者が共同通信に明らかにしたもののだが、この報道に対して政府は否定している。

自衛隊の中のいじめ 地裁は国を無罪に

男性Aさんは災害時の自衛隊の活動に感動し、防衛大入学。しかし新入生歓迎会で空気イスなどのいじめが始まりました。防衛大では全員が学生舎に住み、同じ部屋の上級生が下級生を「指導」。これに絶対服従。○上級生らに顔を殴られる。○アルコールを吹きかけられ体毛に火をつけられる。○食べきれない量の食べ物や、固いままのカップ麺を食べさせられる。○風俗店に行き、女性と写真を撮るよう強要されたり、原稿用紙100枚に反省文を書かせ、ノート1冊を「ごめんなさい」で埋め尽くさせる、などいじめがさまざまです。○防衛大のアンケート調査でも4年生の57%が、下級生のミスや不手際ごとに点数を加算し、一定値で罰を与える「粗相ポイント制」をしたことがあると答えています。

Aさんはその後退学し、上級生8人と国を裁判に訴えました。被告8人のうち7人は現在、自衛隊の幹部になっている。地裁は今年2月、8人のうち7人については計95万円の支払いを命じ、判決が確定しました。

しかし男性は防衛大の管理が不十分だったとして、国にも約2300万円の賠償を求めて提訴していたのですが、福岡地裁は10月に「事件は予測できなかった」と国は無罪の判決。

不祥事はこれだけではありません。H19～29年度に学生の懲戒処分は計663件あり、うち窃盗や傷害など犯罪に相当する事案が147件に上ったことも明らかになりました。

7月に開かれた国会院内集会では息子が海上自衛艦「たちかぜ」内で自殺したが、訴えても事実を隠されて闘っている母親の姿もありました。

自衛隊の実情は旧日本軍の中で横行した新兵いじめと酷似しています。戦争そのものが非人間的で心の葛藤を生むばかりでなく、大義なき戦争への動員は兵隊のモラルも崩壊させます。Aさんのように社会貢献をしたいと望んで自衛隊を志望した若者が、時の政権によって憲法さえ無視して戦場に送られるようなことが進めばこうした無法が拡大するのは避けられません。隊員の中のストレスが強まればそのはげ口を無意識に手近に求めるからです。

